

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	龍谷大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	京都
大学全体の総収容定員	20,322 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	文学部（真宗学科、仏教学科、哲学科、歴史学科、日本語日本文学科、英語英米文学科）、経済学部（現代経済学科、国際経済学科）、経営学部（経営学科）、法学部（法律学科）、社会学部（社会学科、コミュニティマネジメント学科、現代福祉学科）、政策学部（政策学科）、国際学部（国際文化学科、グローバルスタディーズ学科）、農学部（生命科学科、農学科、食品栄養学科、食料農業システム学科）、先端理工学部（数理・情報科学課程、知能情報メディア課程、電子情報通信課程、機械工学・ロボティクス課程、応用化学課程、環境生態工学課程）、心理学部（心理学科）			
事業計画名	龍谷大学「情報学部」及び「環境サステナビリティ学部」設置計画			

2. 事業概要

Society5.0で求められる人材需要に対応し、ネットワーク・IoTに強い情報処理技術者、メディア(画像・音声・言語)に強い情報処理技術者及びビジネスの素養を身に着けたデータサイエンティストの育成を図ることを目的として、2027年4月に「情報学部」（仮称）を開設予定。本学部は、情報コンテンツの作成・処理、ネットワーク社会でのデータ利用、データを活用しての価値創造などの応用的な側面を重視した教育プログラムを特徴とする。（情報学部） 持続可能な社会の実現や自然との共生に向けて様々なステークホルダーと協働して主体的に取り組むことができる人材の育成を目的として、2027年4月に「環境サステナビリティ学部」（仮称）を開設予定。本学部の学位分野については、工学関係及び経済学関係とし、それらに軸足を置きつつも、従来の学問分野の枠組みを超えた文理横断型の教学展開を特徴とする。（環境サステナビリティ学部）
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度
認可申請・届出の別	届出
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	情報学部
設置等組織の学位分野	工学関係 - - - - -
当該学部等の所在地	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
入学定員	新設予定
収容定員	新設予定
入学定員の増加数	130 名
他学部等の入学定員の減少数	147 名

改組予定年度	令和9年度
認可申請・届出の別	届出
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	環境サステナビリティ学部
設置等組織の学位分野	工学関係 経済学関係 - - - - -
当該学部等の所在地	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
入学定員	新設予定
収容定員	新設予定
入学定員の増加数	190 名
他学部等の入学定員の減少数	286 名

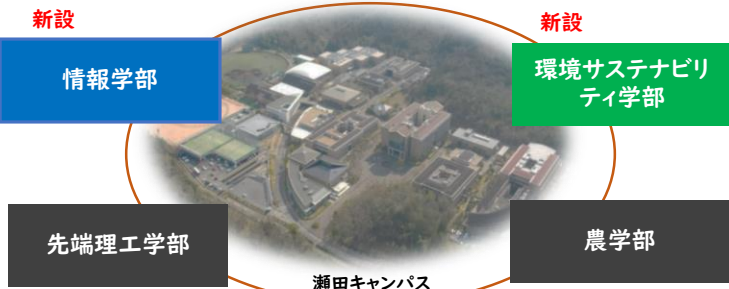
事業計画名	龍谷大学「情報学部」及び「環境サステナビリティ学部」設置計画
-------	--------------------------------

基本情報	設置等組織名	改組予定年度	所在地	改組内容	入学定員増数 (合計数)	入学定員減数 (合計数)
	情報学部 環境サステナビリティ学部	令和9年度	滋賀県大津市	学部の新設 (当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	130名 190名	147名 286名

情報学部
社会や地域のニーズ・課題

持続可能な社会の実現に向けたデジタル・グリーン分野の総合拠点に

- 関西圏で同じキャンパスに理工系学部と農学系学部を設置しているのは龍谷大学のみ
- この特色・強みを更に深化・発展させ、新たに「情報学部」及び「環境サステナビリティ学部」を設置



新設 情報学部

新設 環境サステナビリティ学部

先端理工学部

農学部

瀬田キャンパス

多様な入学者 → 企業・自治体等との連携による教育研究 → 社会から期待されるデジタル・グリーン人材の輩出

持続可能な社会の実現に寄与

環境サステナビリティ学部
社会や地域のニーズ・課題

設置学部等の概要・コンセプト・特徴など

連携を通じた教育体制の整備

連携を通じた教育体制の整備

教育内容・育成する人材

多様な入学者の確保(主要な取組)

多様な入学者の確保(主要な取組)

設置学部等の概要・コンセプト・特徴など

連携を通じた教育体制の整備

教育内容・育成する人材
